

I 調査結果の概要

氷雪販売業

1 一般的事項

(1) 経営主体

調査対象となった176施設について経営主体別にその割合を見ると、「個人経営」が53.4%、次いで「有限会社」が26.7%、「株式会社」が18.2%となっている。

また、構成割合を前回平成14年調査と比べると、「有限会社」が4.2ポイント上昇したのに対し、「個人経営」では、4.4ポイント低下した。

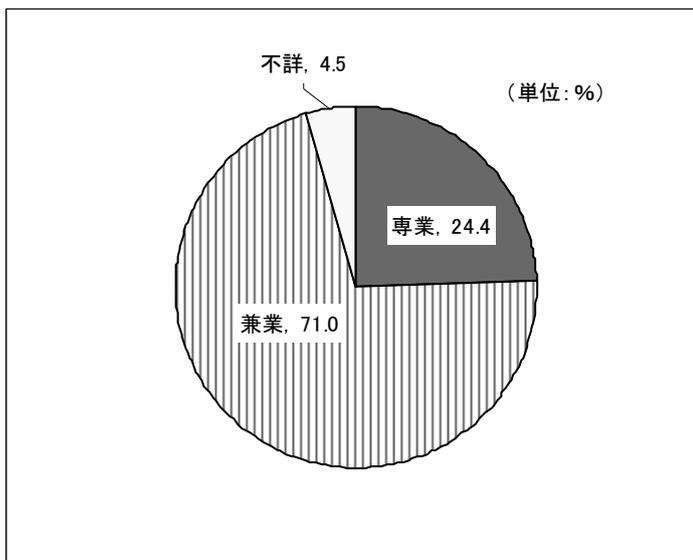
(表1) 経営主体別施設数及び構成割合

区分		平成10年	平成14年	平成19年
施設数	総数	390	244	176
	個人経営	227	141	94
	株式会社	55	42	32
	有限会社	88	55	47
	その他	20	6	3
構成割合(%)	総数	100.0	100.0	100.0
	個人経営	58.2	57.8	53.4
	株式会社	14.1	17.2	18.2
	有限会社	22.6	22.5	26.7
	その他	5.1	2.5	1.7

(2) 専業・兼業の別

専業・兼業別に全体の施設数の構成割合を見ると、「兼業」が71.0%、「専業」が、24.4%となっている。

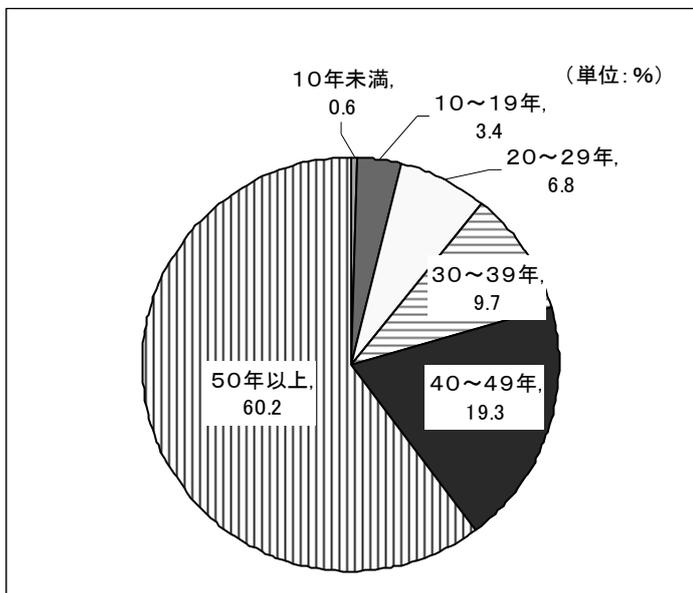
(図1) 専業・兼業別施設数の割合



(3) 創業年

創業年別に全体の施設数の構成割合を見ると、「50年以上」が60.2%と最も高く、次いで「40~49年」が19.3%となっている。

(図2) 創業年別施設数の構成割合



(4) 店舗の形態

店舗の形態別に全体の施設数の構成割合を見ると、「単独店（支店を持たない本店）」が95.5%と最も高くなっている。

また、経営主体別に見ると、「個人経営」、「有限会社」、「株式会社」ともに、「単独店」が最も高く、「その他」では、「複数店（本店＋支店）」が66.7%と高くなっている。

(表2) 店舗形態、経営主体別施設数及び構成割合

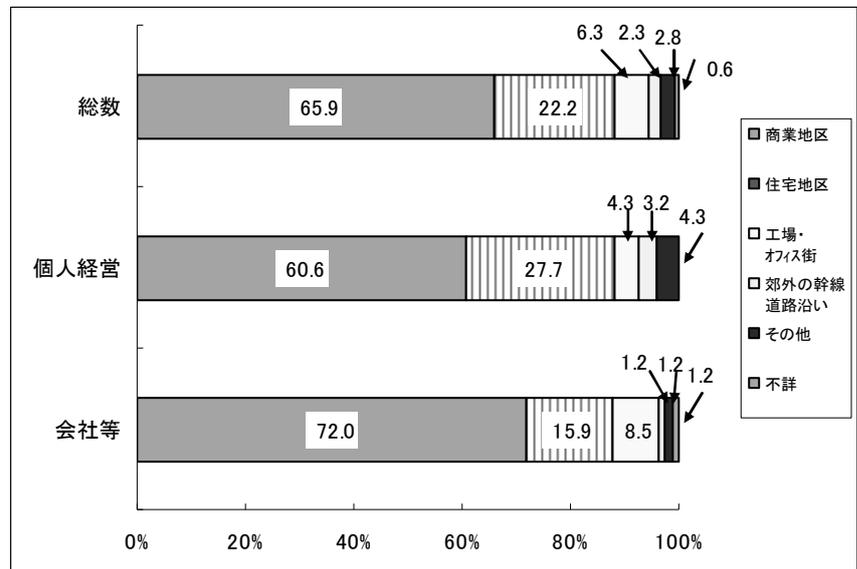
区 分		総数	単独店	本店	支店
施設数	総 数	176	168	7	1
	個人経営	94	94	-	-
	株式会社	32	29	2	1
	有限会社	47	44	3	-
	その他	3	1	2	-
構成割合（%）	総 数	100.0	95.5	4.0	0.6
	個人経営	100.0	100.0	-	-
	株式会社	100.0	90.6	6.3	3.1
	有限会社	100.0	93.6	6.4	-
	その他	100.0	33.3	66.7	-

(5) 立地条件

立地条件別に全体の施設数の構成割合を見ると、「商業地区」が65.9%と最も高くなっている。

また、経営主体別に見ると、「会社等」では、「工場・オフィス街」が高く、「郊外の幹線道路沿い」が低くなっている。

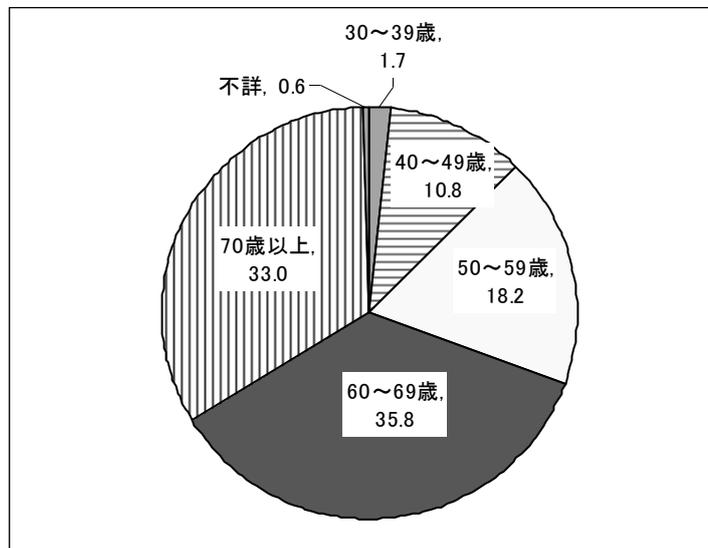
(図3) 立地条件、経営主体別施設数の構成割合



(6) 経営者の年齢

経営者の年齢階級別に全体の施設数の構成割合を見ると、「60～69歳」が、35.8%と最も高く、次いで「70歳以上」が、33.0%となっている。

(図4) 経営者の年齢別施設数の構成割合 (単位：%)



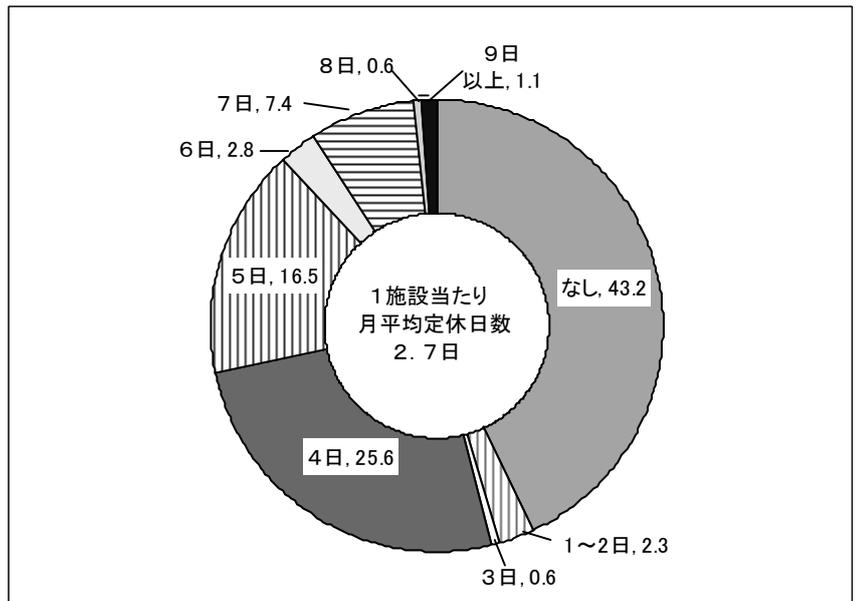
2 経営に関する事項

(1) 1ヶ月の定休日数

1ヶ月の定休日別に全体の施設数の構成割合をみると、「なし」が43.2%と最も高くなっている。

また、1施設当たりの1ヶ月の平均定休日数は2.7日となっている。

(図5) 1ヶ月の定休日数の構成割合

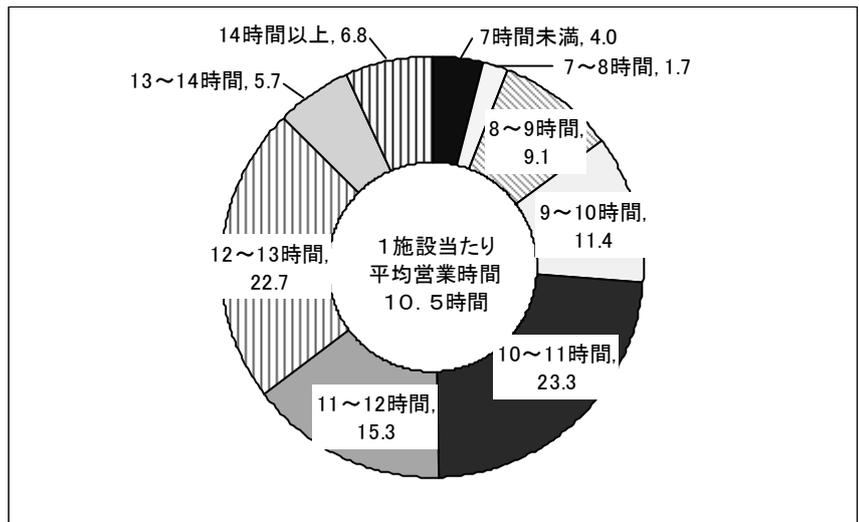


(2) 1日の営業時間

1日の営業時間別に施設数の構成割合をみると「10～11時間」が23.3%、次いで「12～13時間」が22.7%、「11～12時間」が15.3%となっている。

また、1施設当たりの平均営業時間は10.5時間となっている。

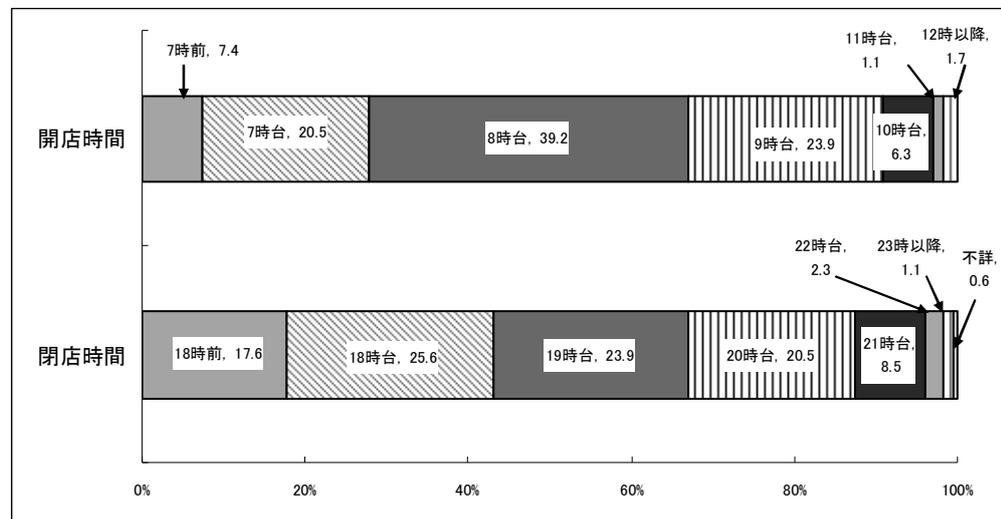
(図6) 1日の営業時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(3) 開店時間と閉店時間

開店時間・閉店時間別に施設数の構成割合をみると、開店時間では、「8時台」が39.2%と最も高く、閉店時間では、「18時台」が25.6%と最も高くなっている。

(図7) 開店時間・閉店時間別施設数の構成割合 (単位: %)



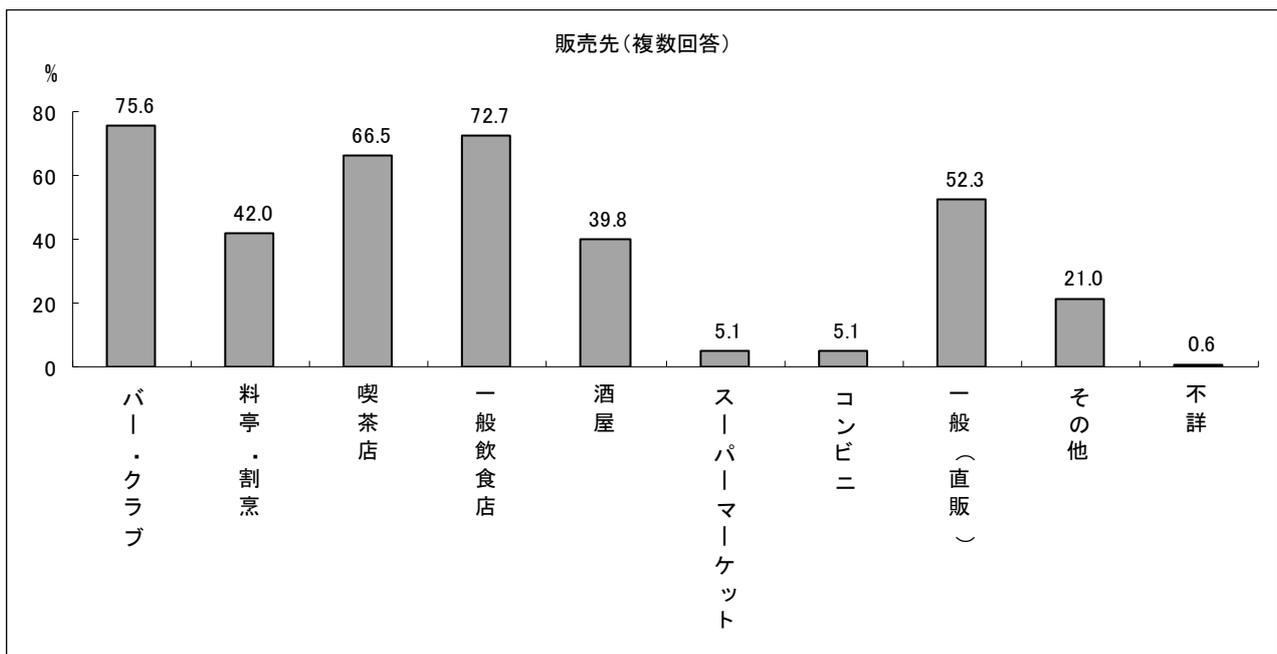
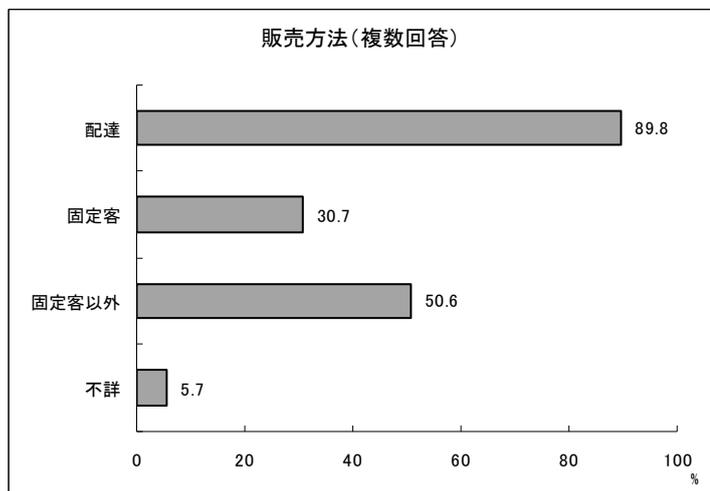
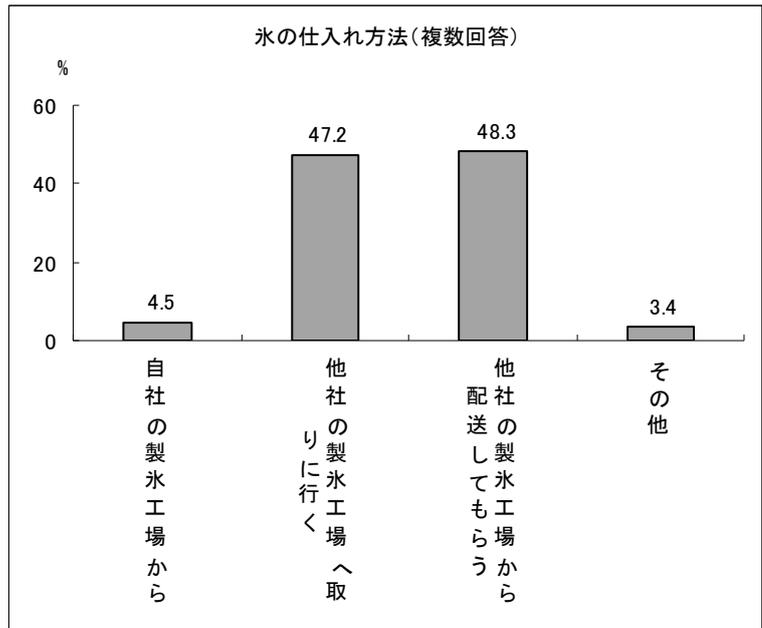
(4) 氷の仕入れ方法と販売先

氷の仕入れ方法の構成割合をみると、「他社の製氷工場から配送してもらう」が48.3%と最も高く、次いで、「他社の製氷工場へ取りに行く」が47.2%となっており、ほとんどの施設が他社から仕入れている。

次に、販売方法については、「配達」が89.8%と最も高く、次いで、「固定客以外」が50.6%となっている。

また、販売先については、「バー・クラブ」、「一般飲食店」がほぼ同じで70%を超えて高くなっており、次いで、「喫茶店」が66.5%となっている。それに比べ、「スーパーマーケット」、「コンビニ」は5.1%と低くなっている。

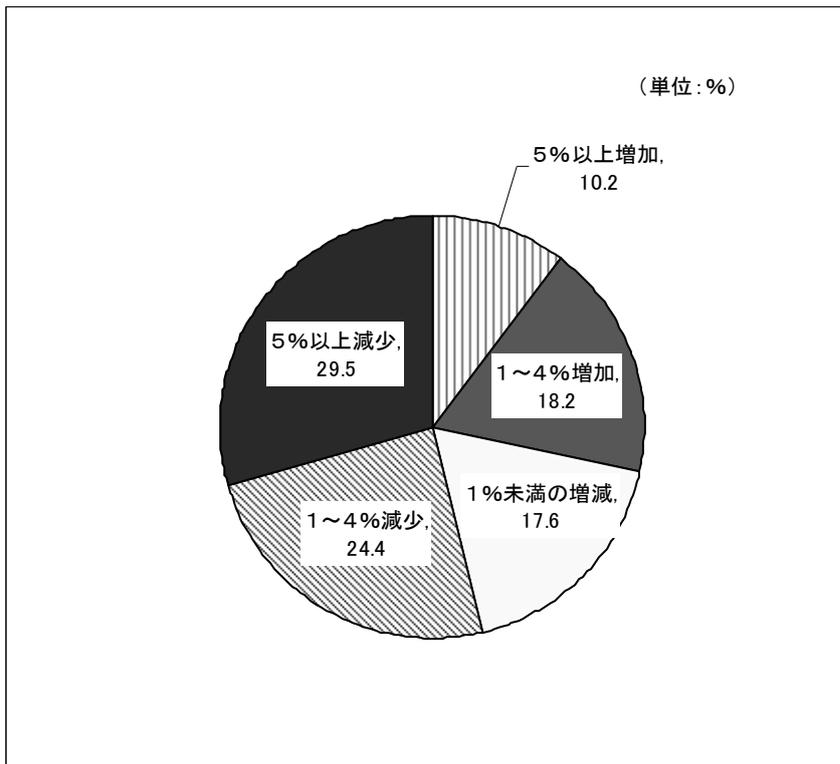
(図8) 1日平均客数、経営主体別施設数の構成割合



(5) 前年度と比べた今年度の売上

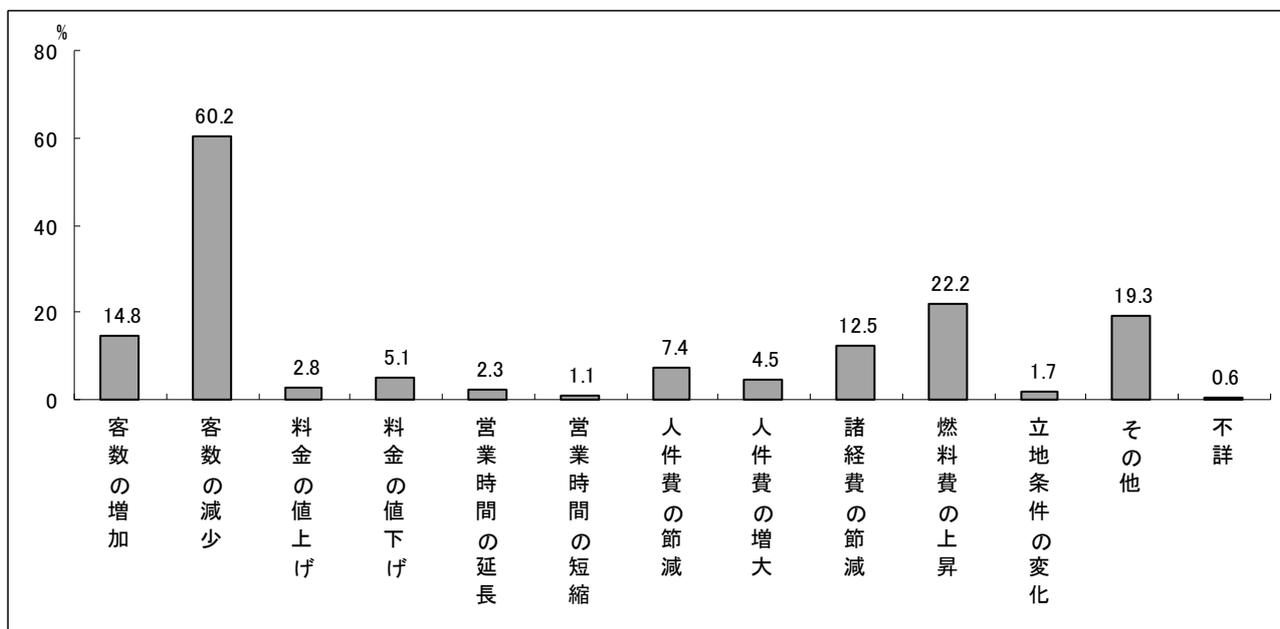
前年度と比べた今年度の売上の施設数の構成割合をみると、「5%以上減少」が29.5%と最も高く、次いで「1~4%減少」が24.4%となっており、1%以上減少している施設は、全体の5割以上を占めている。

(図9) 前年度と比べた今年度の売上の施設数の構成割合



(6) 本業の当期純利益の動向の主な原因

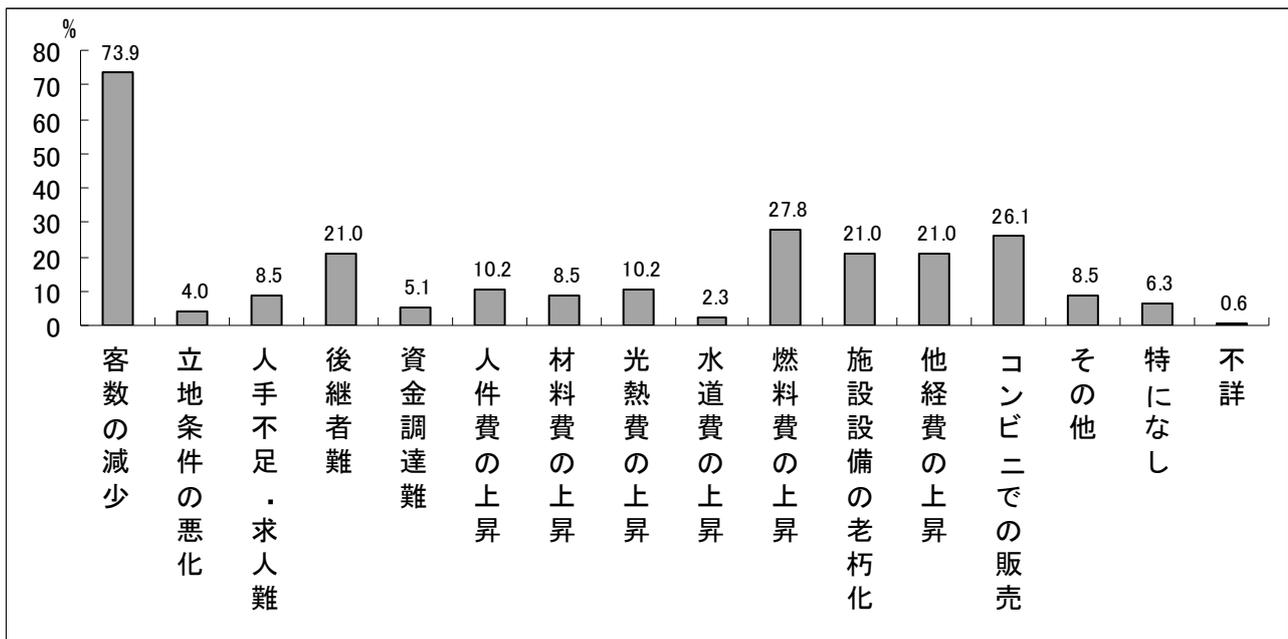
(図10) 本業の当期純利益の動向の主な原因の施設数の構成割合



当期純利益の動向の主な原因をみると、「客数の減少」が60.2%となっており、それ以外の原因と比べ極端に高くなっている。

(7) 経営上の問題点

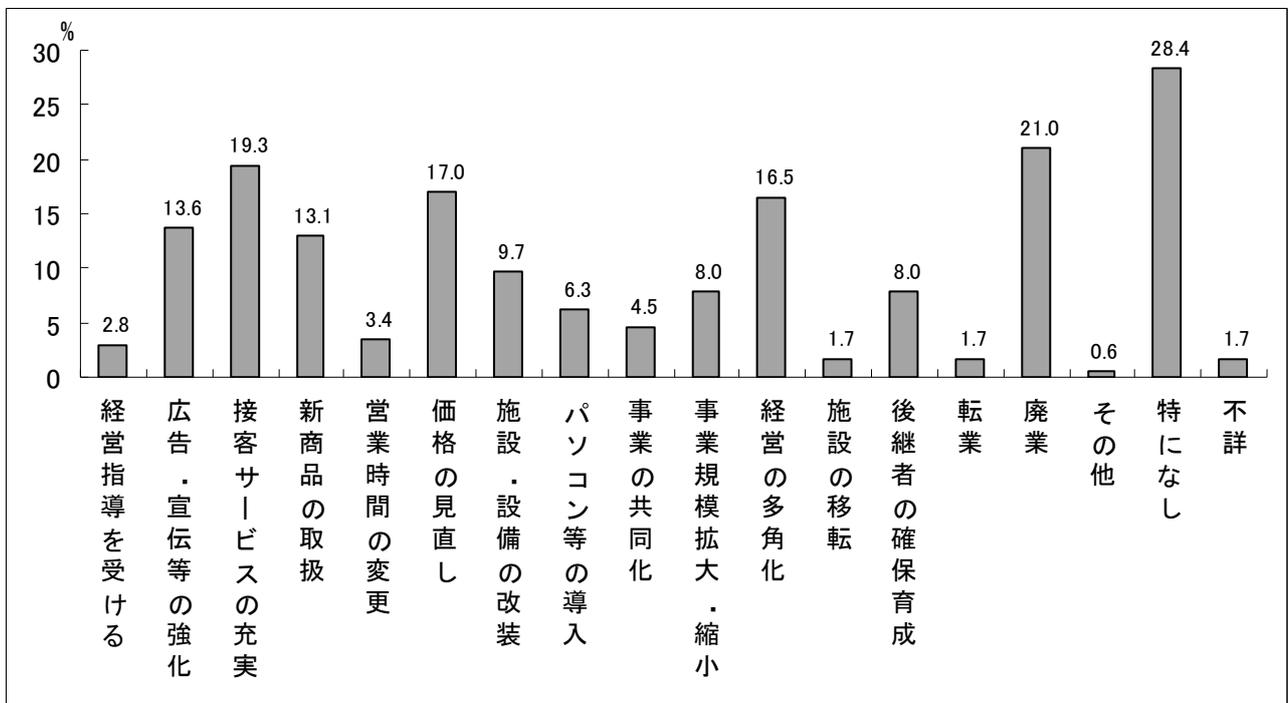
(図1 1) 経営上の問題点別施設数の割合 (複数回答)



経営上の問題点別に施設数の割合をみると、「客数の減少」が73.9%、「燃料費の上昇」が27.8%、「コンビニでの販売」が26.1%と高くなっている。

(8) 今後の経営方針

(図1 2) 今後の経営方針別施設数の割合 (複数回答)



今後の経営方針別に施設数の割合をみると「特になし」が28.4%、「廃業」が21.0%、「接客サービスの充実」が19.3%、「価格の見直し」が17.0%と高くなっている。

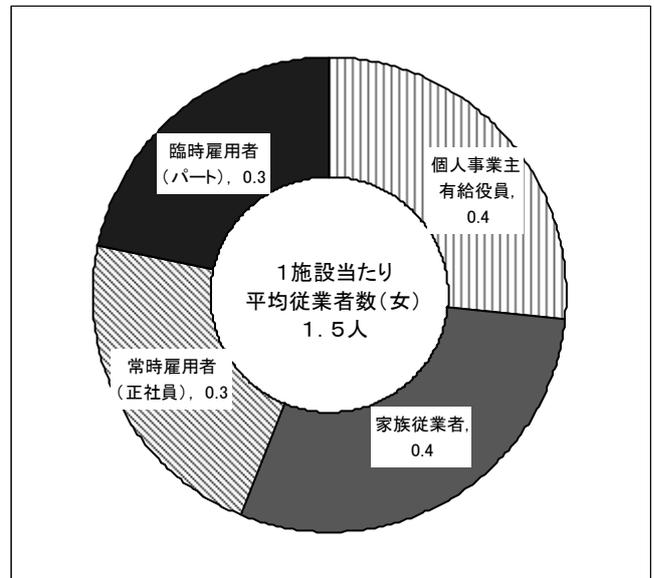
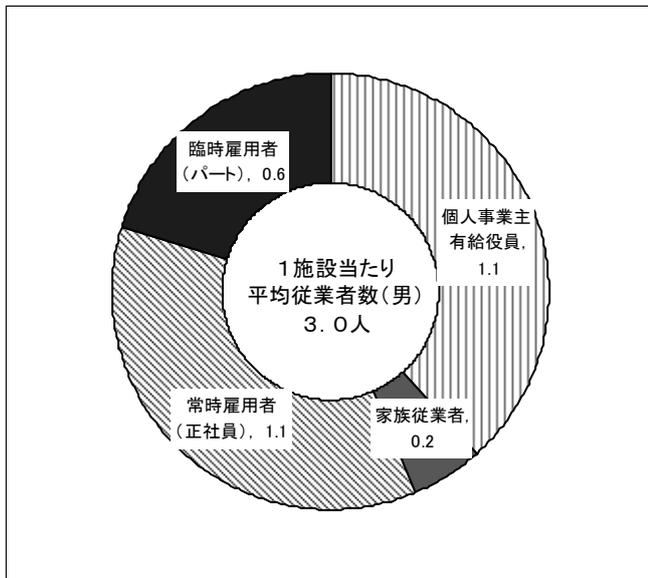
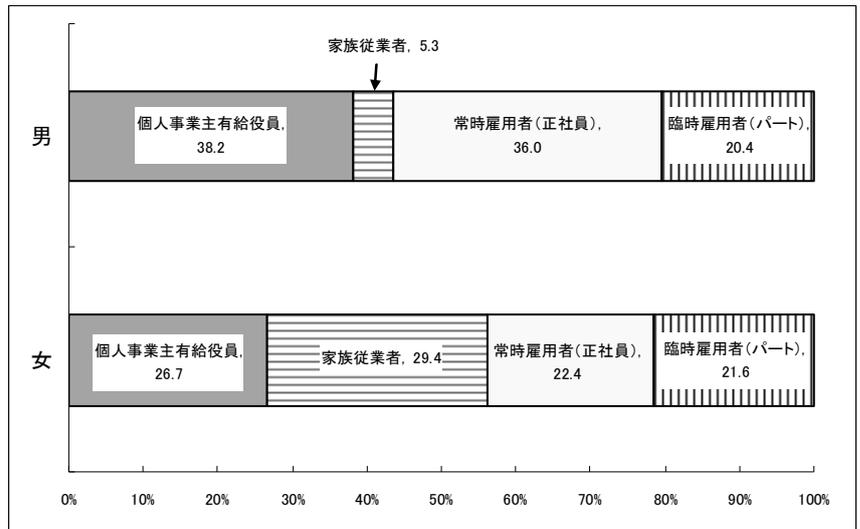
3 従業者に関する事項

(1) 従業者数

従業者数の1施設当たり平均従業者数を見ると、男3.0人、女1.5人となっている。

また、雇用形態の構成割合をみると、男性は「個人事業主有給役員」が38.2%、次いで「常用雇用者」が36.0%、女性は「家族従業者」が、29.4%と最も高くなっている。

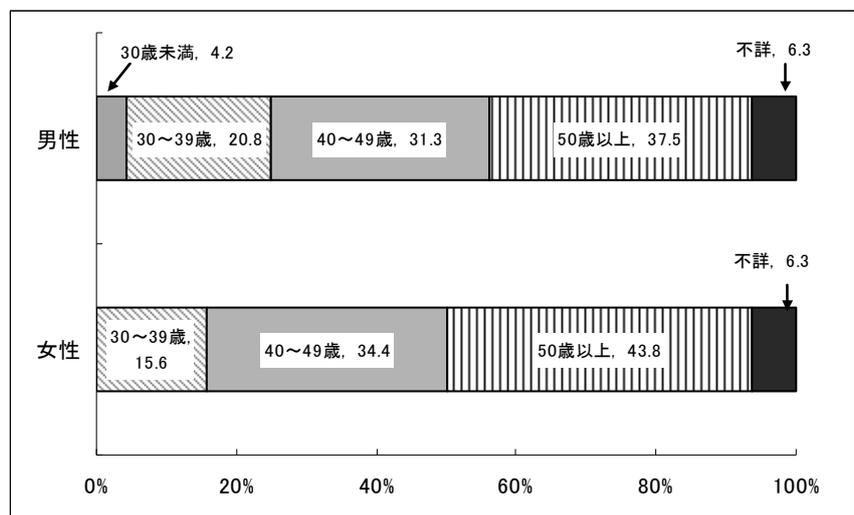
(図11) 従業者数、雇用の形態別従業者の構成割合



(2) 常時雇用者の性別年齢

常時雇用者(正社員)の性別平均年齢別施設数の構成割合を見ると、男性、女性共に、「50歳以上」が最も高くなっている。

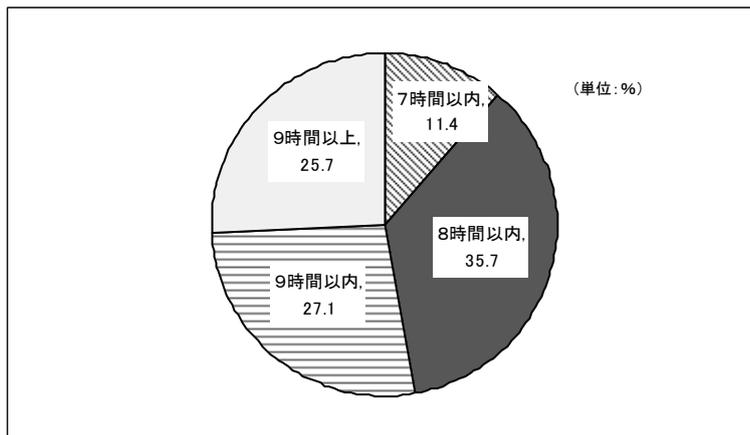
(図12) 常時雇用者の性別平均年齢別施設数の構成割合



(3) 常時雇用者のいる施設の1日平均労働時間

常時雇用者（正社員）の1日の平均労働時間は、「8時間以内」が29.2%と最も高く、次いで「7時間以内」が25.5%と高くなっている。

(図13) 常時雇用者の1日平均労働時間別施設数の構成割合

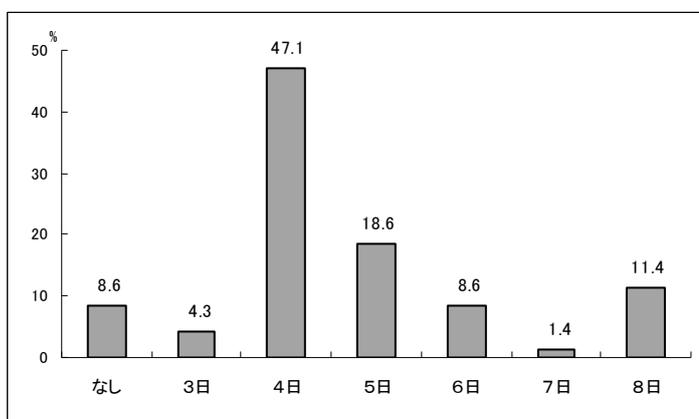


(4) 常時雇用者のいる施設の月平均休日数

常時雇用者（正社員）がいる施設の1ヶ月間の平均休日数は、「4日」が47.1%と最も高く、次いで「5日」が18.6%、「8日」が11.4%となっている。

次に、1施設当たり平均休日数を見ると5.2日となっている。

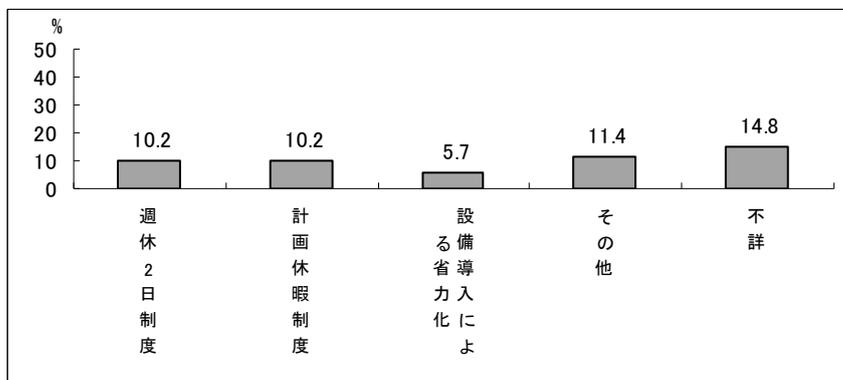
(図14) 常時雇用者の月平均休日数別施設数の割合



(5) 労働時間短縮のための努力

労働時間短縮のための努力（休暇制度や設備面等）をしている施設について、内容別に見ると、「その他」、「計画休暇制度」、「週休2日制度」共に低くなっており、「労働時間短縮努力なし」が54.0%と高くなっている。

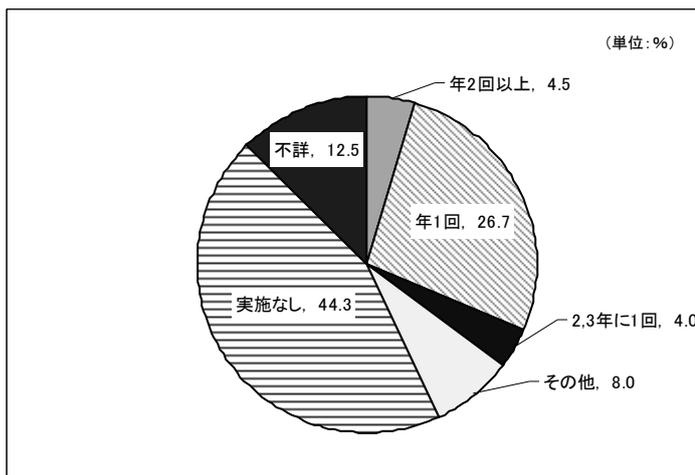
(図15) 労働時間短縮のための努力、施設数の割合（複数回答）



(6) 健康診断の状況

健康診断の実施状況についての構成割合を見ると、「実施なし」が44.3%と最も高くなっており、次いで、「年1回」が26.7%となっている。

(図16) 健康診断の実施状況別、施設数の構成割合

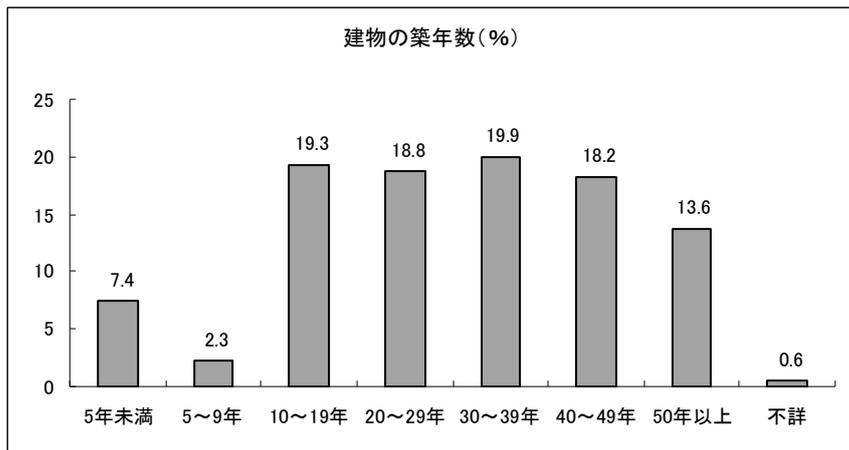


4 土地、建物及び設備等に関する事項

(図17) 建物の築年数別施設数の割合

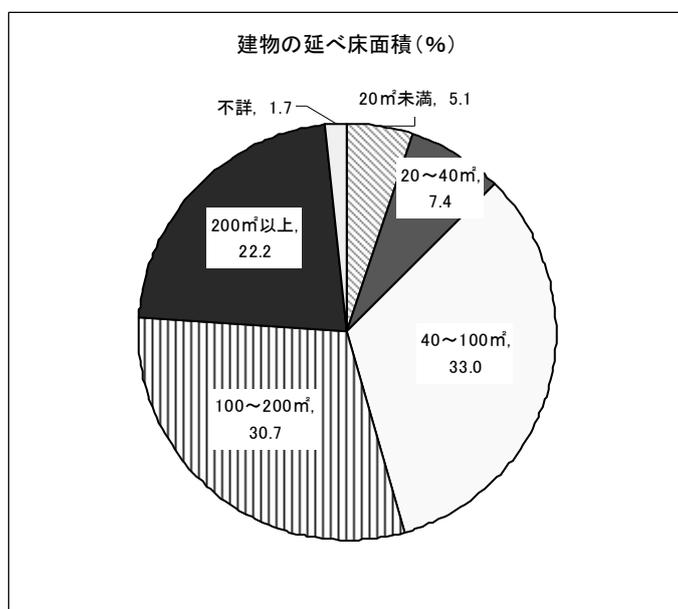
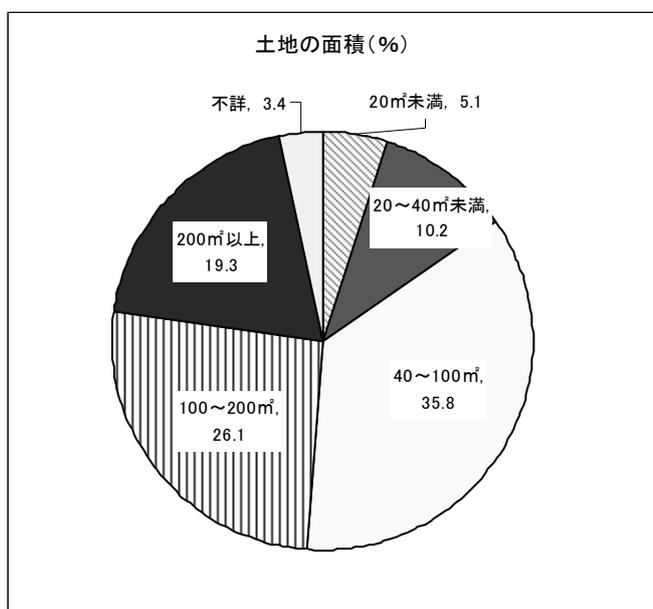
(1) 建物の築年数

建物の築年数別施設数の割合を見ると、「30～39年」が19.9%と最も高く、次いで「10～19年」が19.3%、「20～29年」が18.8%となっている。



(2) 土地・建物の面積

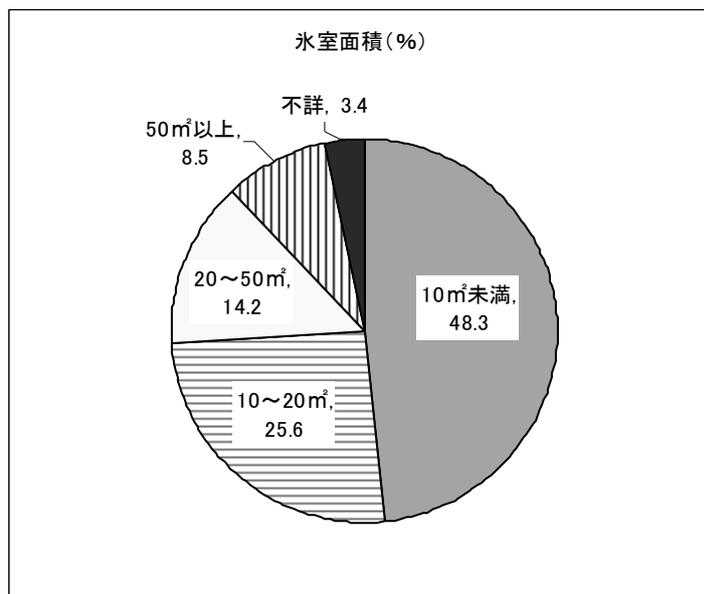
(図18) 土地・建物の面積別施設数の構成割合



(3) 氷室面積

氷室面積別施設数の割合を見ると、「10㎡未満」が48.3%と最も高く、全体の約半数を占めており、次いで「10～20㎡」が25.6%となっている

(図19) 氷室面積の構成割合



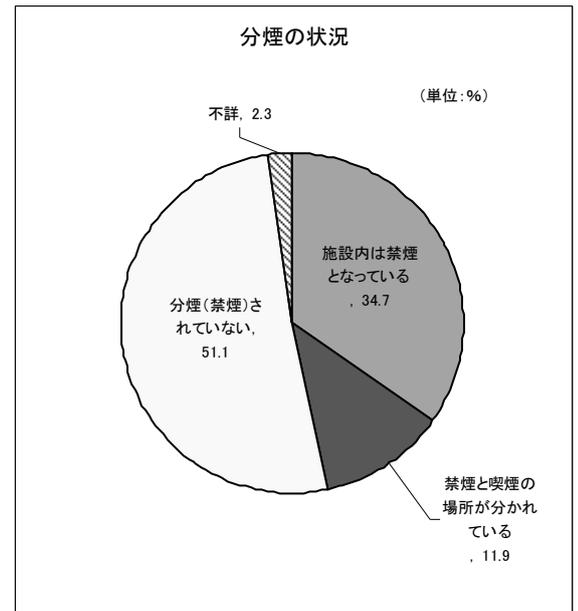
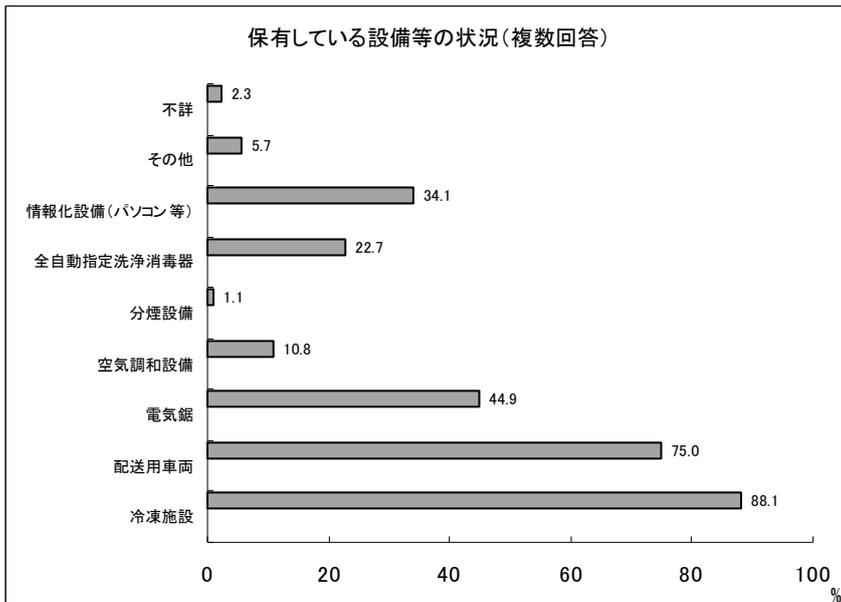
(4) 設備等の状況

設備等の状況について構成割合を見ると、「冷凍施設」が88.1%、「配送用車両」が、75.0%と高くなっており、ほとんどの施設で保有されている。次いで、「電気鋸」が44.9%、「情報化設備（パソコン等）」が34.1%と高くなっている。

また、分煙の状況について構成割合を見ると、「分煙（禁煙）されていない」が、51.1%と最も高く、半数を占めており、次いで、「施設内は禁煙となっている」が、34.7%と高くなっている。

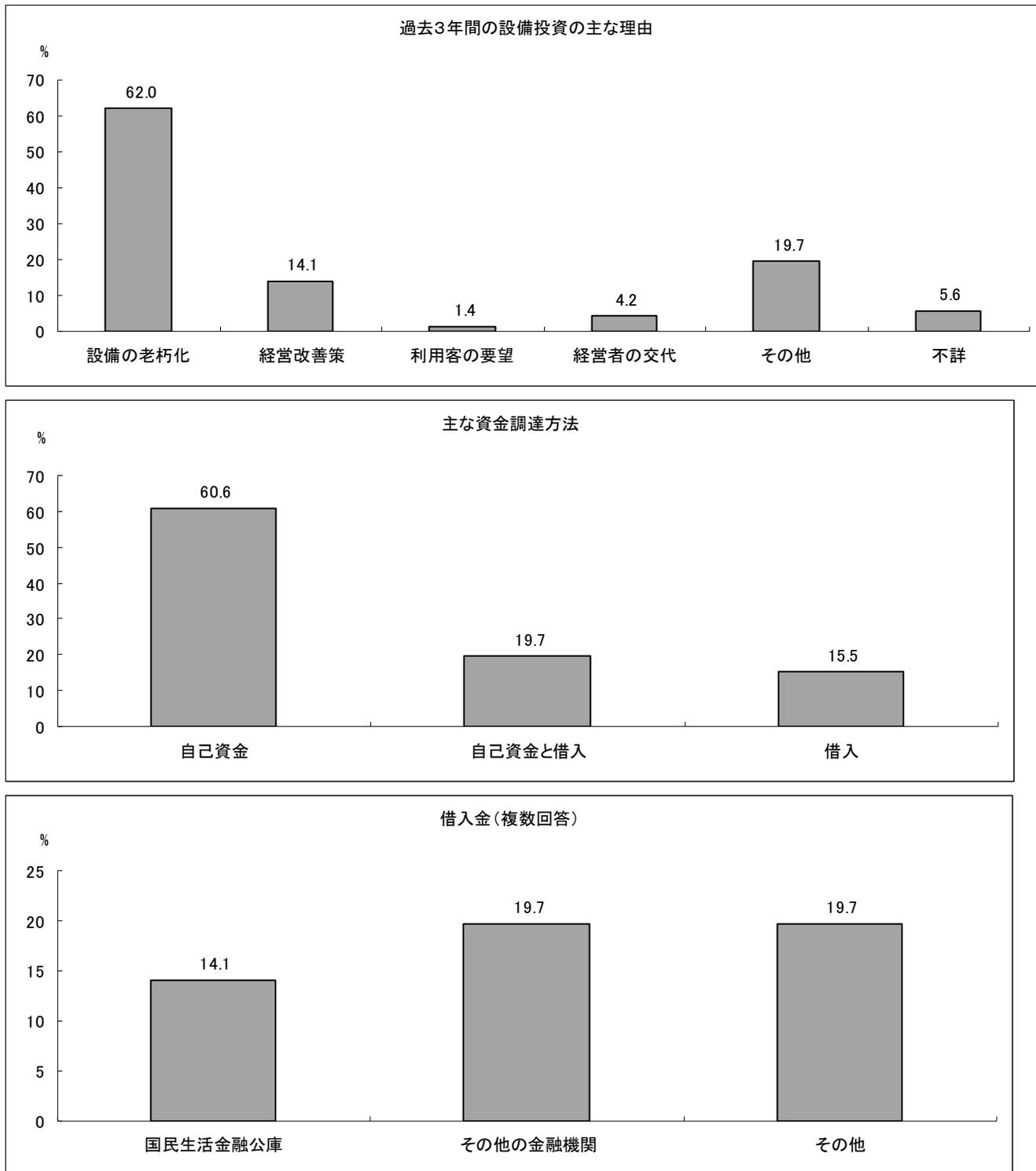
(図20) 設備投資実績の有無別施設数の構成割合

(図21) 分煙の状況別施設数の割合



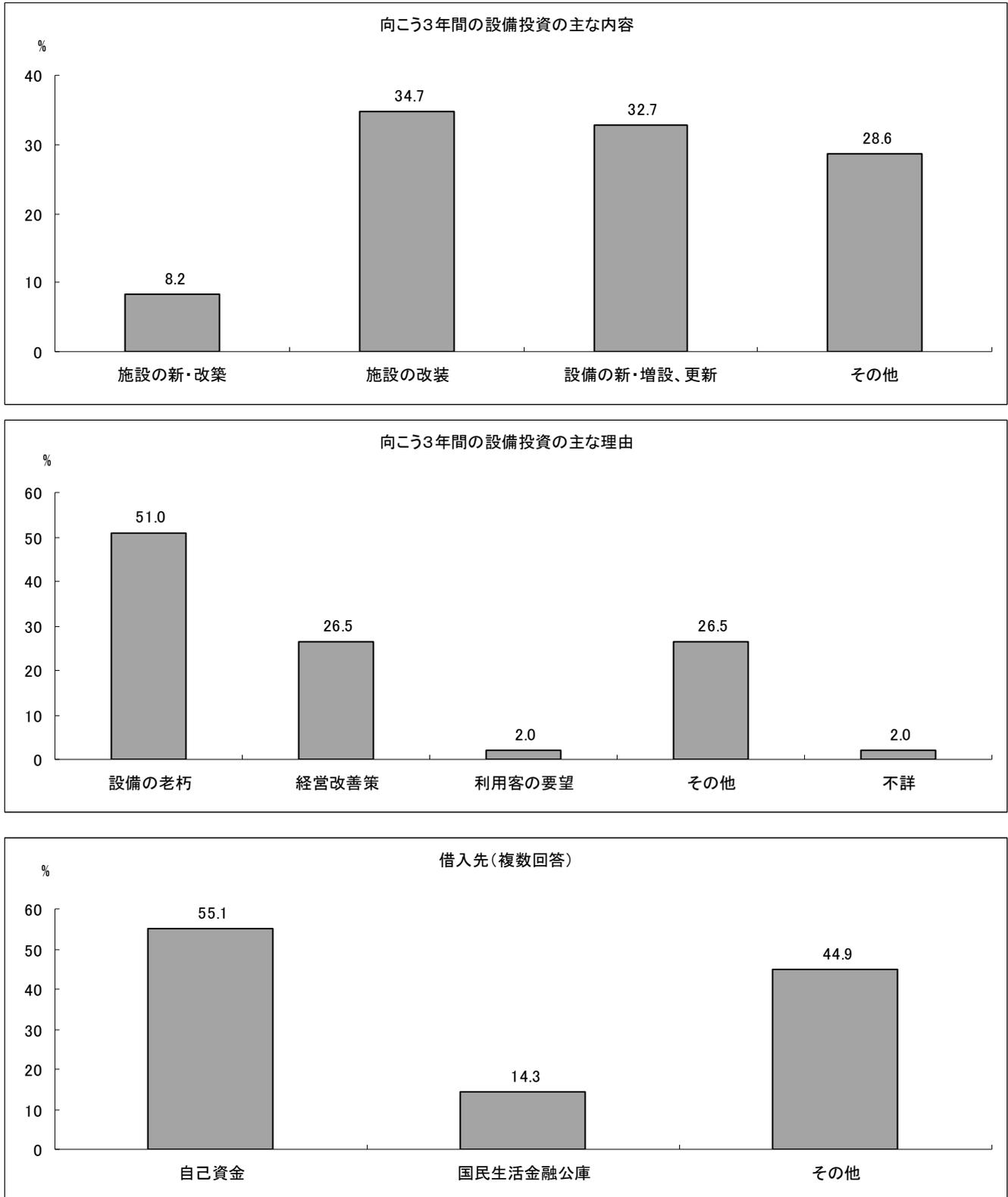
5 設備投資に関する事項

(図22) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別施設数の割合



過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資実績を行った施設の主な理由としては、「設備の老朽化」が62.0%と最も高くなっている。また、設備投資を行う際の資金調達方法は、「自己資金」が60.6%と高く、借入先は、「その他の金融機関」及び「その他」が19.7%となっている。

(図23) 向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別施設数の割合



向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資を行う予定の施設の内容としては、「施設の改装」が34.7%、理由としては「設備の老朽化」が51.0%と最も高くなっている。また、借入先は、「自己資金」が55.1%と最も高くなっている。

6 サービス関係の項目

地域との共生の状況は、「祭りやイベント等商店街の共同事業に参加している」が65.3%と最も高くなっており、次いで、「商工会議所・商工会又は商店街組合に参加している」が40.3%と高くなっている。

(図24) 地域との共生の状況別施設数の割合

